



Espacenet

Bibliographic data: JP5200079 (A) — 1993-08-10

BATHTUB SHOWER DEVICE FOR MASSAGING SHOULDER

Inventor(s): ROKUSHIMA KAZUMASA; TANIGUCHI EIICHI; ISHIDA MASASHI †

Applicant(s): MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD 

Classification: - international: **A47K3/00; A61H9/00;** (IPC1-7): A47K3/00; A61H9/00
- European:

Application number: JP19920012583 19920128

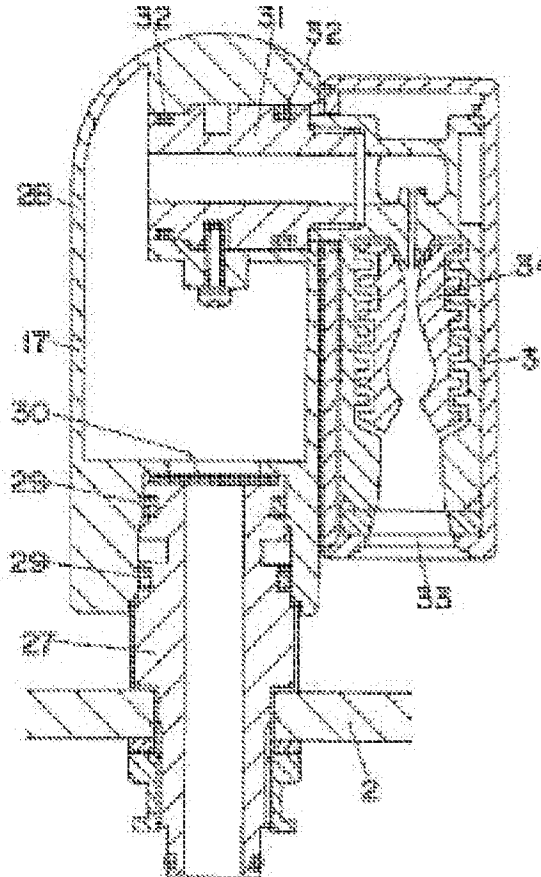
Priority number (s): JP19920012583 19920128

Abstract of JP5200079 (A)

PURPOSE: To enable a shower to be used with a jet flow kept at an angle suitable for giving a sufficient massaging effect to a person taking a bath, and further enable the shower to be so housed as not to hinder the person when the shower is not in use.

CONSTITUTION: A body 28 is mounted on a seat 27 fitted to the flange 2 of a bathtub, in such a way as freely rotatable within horizontal plane. A horizontal cylindrical rotary shaft 31 is so coupled to the upper section of the body 28 as to be freely rotatable.

Also, a shoulder massaging shower nozzle 3 to jet water toward a shoulder is mounted on the rotary shaft 31. In addition, a water passage leading from the seat 27 to the nozzle 3 via the body 28 and the shaft 31 is formed for feeding a hot bath to the nozzle 3. According to this construction, the nozzle 3 and the body 28 are rotatable together in a peripheral direction, and the nozzle 3 and the shaft 31 are rotatable together in a vertical direction.



5.12.2011 Last updated:
Worldwide Database 5.7.31;
92p

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-200079

(43)公開日 平成 5 年(1993) 8 月10日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 H 9/00		8119-4C		
A 4 7 K 3/00	Z	7150-2D		

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-12583

(22)出願日 平成 4 年(1992) 1 月28日

(71)出願人 000005832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72)発明者 六嶋 一雅

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(72)発明者 谷口 衛一

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(72)発明者 石田 正志

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

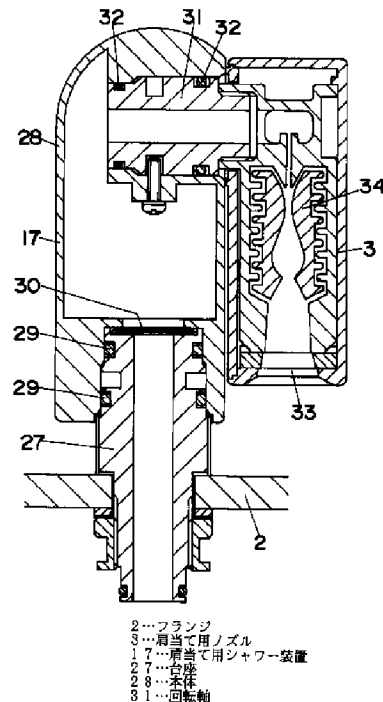
(74)代理人 弁理士 石田 長七 (外 2 名)

(54)【発明の名称】 浴槽の肩当て用シャワー装置

(57)【要約】

【目的】 入浴者に十分なマッサージ効果を与えることができる噴流の角度を保った状態で使用する。使用していない状態では入浴者の邪魔にならないように格納する。

【構成】 浴槽のフランジ2に取り付けた台座27に本体28を水平面で回転自在になるように装着する。本体28の上部に水平な筒状の回転軸31を回転自在に装着する。肩に向けてシャワー水を噴射する肩当て用ノズル3を回転軸31に装着する。台座27から本体28、回転軸31を介して肩当て用ノズル3に至る水路を形成して肩当て用ノズル3に浴湯を供給するようにする。これにより肩当て用ノズル3を本体28と一緒に周方向にできるようにすると共に肩当て用ノズル3を回転軸31と一緒に上下方向に回転できるようにする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 浴槽のフランジに取り付けた台座に本体を水平面で回転自在になるように装着し、本体の上部に水平な筒状の回転軸を回転自在に装着し、肩に向けてシャワー水を噴射する肩当て用ノズルを回転軸に装着し、台座から本体、回転軸を介して肩当て用ノズルに至る水路を形成して肩当て用ノズルに浴湯を供給するようにして成ることを特徴とする浴槽の肩当て用シャワー装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、入浴しながら肩にシャワー水の強い噴流を与えて肩をマッサージするのに用いる浴槽の肩当てシャワー装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、肩にシャワー水の噴流を与える肩当て用シャワーとしては実開平2-141282号公報等に開示されるものがある。これは、肩当て用シャワー装置を浴槽にある間隔を隔てて1対取り付け、この肩当て用シャワー装置に固定的に設けた肩当て用ノズルから入浴姿勢のままの肩にシャワーを当てることだけを目的としている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記したものでは、肩当て用シャワー装置の肩当て用ノズルが入浴姿勢のまま肩にシャワー水の噴流を当てるため、浴槽内に向けて突出しており、これを使用しないときには入浴者の邪魔になり、また浴槽への出入りのときも危険であるという問題がある。また入浴者に十分なマッサージ効果を与えるためには入浴者の噴流が当たる箇所に肩当て用ノズルから垂直に近い方向から噴流を与える必要があり、そのためには入浴姿勢にある入浴者の頭部に近い位置に肩当て用ノズルを取り付けることとなり、入浴者の邪魔になるという問題がある。

【0004】 本発明は上記問題点を鑑みてなされたものであって、本発明の目的とするところは入浴者に十分なマッサージ効果を与えることができる噴流の角度を保った状態で使用でき、しかも使用していない状態では入浴者の邪魔にならないように格納できる浴槽の肩当て用シャワー装置を提供するにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため本発明浴槽の肩当て用シャワー装置は、浴槽1のフランジ2に取り付けた台座27に本体28を水平面で回転自在になるように装着し、本体28の上部に水平な筒状の回転軸31を回転自在に装着し、肩に向けてシャワー水を噴射する肩当て用ノズル3を回転軸31に装着し、台座27から本体28、回転軸31を介して肩当て用ノズル3に至る水路を形成して肩当て用ノズル3に浴湯を供給するようにした。

【0006】

【作用】 上記構成によれば、台座27に対して本体28を回転することにより肩当て用ノズル3を本体28と一緒に周方向に回転でき、また肩当て用ノズル3を本体28に対して回転軸31と一緒に上下に回転することができ、これにより、肩当て用ノズル3を任意の向きに向けることができ、使用するときには十分なマッサージ効果が得られる最適の向きに向けて使用でき、使用しないときには邪魔にならない位置に格納できる。

【0007】

【実施例】 図3は浴槽1の全体の斜視図であり、図4は全体のシステムを示す管路図である。浴槽1の側方には循環ポンプ8を配置してあり、浴槽1内の吸入口9と循環ポンプ8とを吸込管10にて連結してあり、循環ポンプ8にて浴槽1内の湯を吸入できるようになっている。また浴槽1の内壁面には浴槽1に気泡混じりの浴湯を噴射する背用の噴射ノズル11や足用の噴射ノズル12を複数個設けてあり、この噴射ノズル11、12と循環ポンプ8とがノズル給水管13、14にて連結してあり、噴射ノズル11、12に浴湯を供給できるようになっている。浴槽1のフランジ2には空気吸入口15を設けてあり、空気吸入口15と噴射ノズル11、12とを空気配管16にて連結してあり、これにより噴射ノズル11、12に空気が供給できるようになっている。浴槽1のフランジ2には入浴者の肩に対応する位置で1対の肩当て用シャワー装置17を配置してあり、肩当て用シャワー装置17と循環ポンプ8とを肩当て用シャワー給水管18にて連結してあり、浴湯が肩当て用シャワー装置17に供給されるようになっている。浴槽1の操作はリモコン20にて行われるようになっており、各運転パターンの選択、及び流量の強弱調節、噴流変化の周波数調節などが行えるようになっている。リモコン20からの信号はリモコン受光部21に送られ、循環ポンプ8に収められた制御部22に伝えられるようになっている。

【0008】 吸入口9から吸い込まれた浴湯は循環ポンプ8から、ポンプユニット内部において循環流量を制御する流量制御弁23を介してノズル給水管13、14、肩当て用シャワー給水管18に供給されるようになっている。ノズル給水管13、14及び肩当て用シャワー給水管18には夫々モータバルブのような背用流路切換弁24、足用流路切換弁25、肩用流路切換弁26を設けてあり、浴湯の供給を切り換えられるようになっている。背用流路切換弁24及び足用流路切換弁25を通してノズル給水管13、14を介して循環してきた浴湯は、噴射ノズル11、12で空気配管16からの空気と混合され、浴槽1内に気泡混じりの噴流が噴射される。肩用流路切換弁26を通して肩当て用シャワー給水管18を介して循環してきた浴湯は、肩当て用シャワー装置17に供給され、肩当て用シャワー装置17の肩当て用ノズル3から噴射される。噴射ノズル11、12、肩当て用シャワー装置17に循環供給する浴湯の流量は制御

部22で、ステッピングモータを用いて弁開度にて流量を制御できる流量制御弁23を制御することにより循環流量を調節することができ、噴射ノズル11、12、肩当て用シャワー装置17の肩当て用ノズル3から噴射される噴流の強弱調節や、様々なバリエーションの噴流が得られる。

【0009】肩当て用シャワー装置17は図1に示すように形成されている。フランジ2には台座27が取り付けられ、台座27には本体28を回転自在に装着してある。台座27と本体28とを回転自在に連結する部分にはリング29を介装してあり、リング29にて水密的に接続してある。台座27と本体28との間にはごみを除去するためのストレーナ30を介装してある。本体28の上部には筒状の回転軸31を水平に配置して回転自在に装着してある。この回転軸31を回転自在に接続する部分にもリング32を介装して水密的に接続してある。この回転軸31には肩当て用ノズル3を装着してあり、この肩当て用ノズル3の先端の噴射口33からシャワー水の噴流を噴射できるようになっている。この肩当て用ノズル3内にはフィードバック発振型の純流体素子のようなパルス発生用流体素子34を内装してあり、パルス発振した噴流を噴射できるようになっている。この肩当て用シャワー装置17は本体28を回転することにより図2の矢印イに示すように水平面内で肩当て用ノズル3を回転でき、肩当て用ノズル3を図2の矢印ロに示すように上下に回転でき、肩当て用ノズル3の向きを自在に変えることができるようになっている。従って浴槽1に取り付けた肩当てシャワー装置17を使用しないときには図6に示すように入浴者40の邪魔にならないように肩当て用ノズル3を格納することができ、使用時には図5に示すように肩当て用ノズル3を回転させ、入浴姿勢にある入浴者40の噴流の当たる箇所にほぼ垂直に近い状態で矢印ハに示すようにシャワー水の噴流を当て、入浴者40に十分なマッサージ効果を与えることができる。また噴流の方向を調節する範囲が大きいので、

いかなる入浴姿勢においても入浴者40に十分がマッサージ効果を与えることができる。

【0010】

【発明の効果】本発明は上述のように構成されているので、台座に対して本体を回転することにより肩当て用ノズルを本体と一緒に周方向に回転できると共に肩当て用ノズルを本体に対して回転軸と一緒に上下に回転することができるものであって、肩当て用ノズルを任意の向きに向けることができ、使用するときには十分なマッサージ効果が得られる最適の向きに向けて使用でき、使用しないときには邪魔にならない位置に格納できるものであり、しかも入浴者の体型や入浴姿勢に応じて最適の向きに肩当て用ノズルを向けて最適のマッサージ効果が得られるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の肩当て用シャワー装置の断面図である。

【図2】同上の肩当て用シャワー装置の外観を示す斜視図である。

【図3】同上の浴槽全体を示す斜視図である。

【図4】同上の全体のシステムの管路図である。

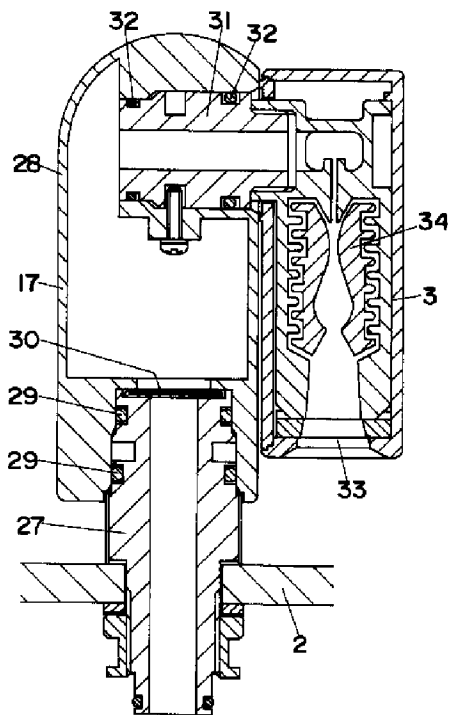
【図5】同上の肩当て用シャワー装置の使用状態を説明する図であって、(a)は平面図、(b)は一部切欠正面図である。

【図6】同上の肩当て用シャワー装置の格納状態を説明する図であって、(a)は平面図、(b)は一部切欠正面図である。

【符号の説明】

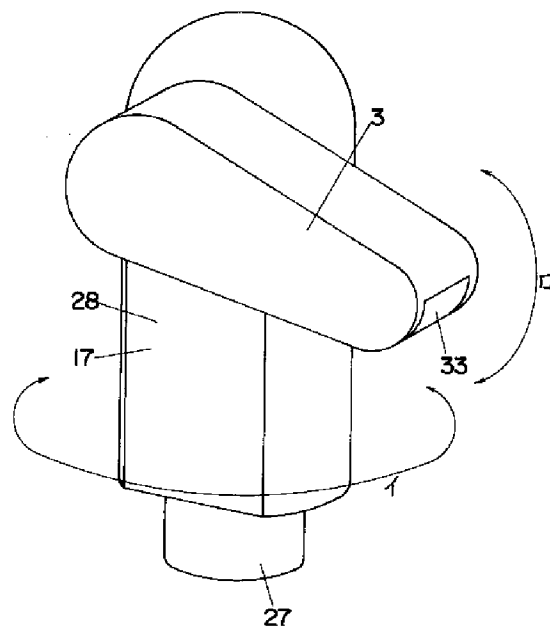
- 1 浴槽
- 2 フランジ
- 3 肩当て用ノズル
- 17 肩当て用シャワー装置
- 27 台座
- 28 本体
- 31 回転軸

【図1】

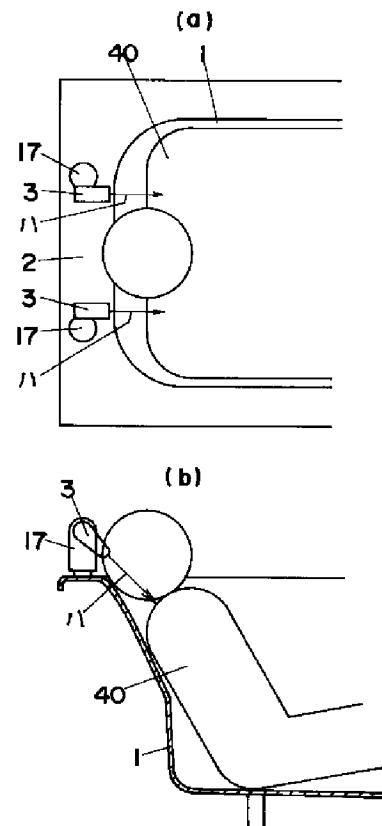


- 2…フランジ
3…肩当て用ノズル
17…肩当て用シャワー装置
27…台座
28…本体
31…回転軸

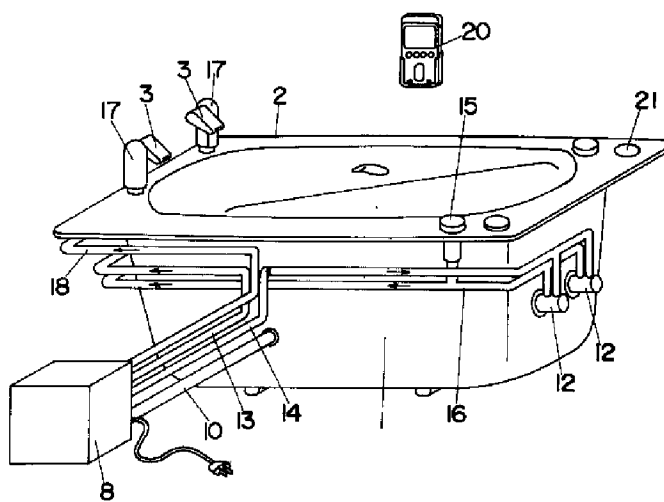
【図2】



【図5】



【図3】



【例6】

